

山口新聞に取材いただき
翌日の県西面に掲載されました



新 聞 2018年(平成30年)3月23日 金曜日 (20)

精神障害者の就労促進

ハローワークと下関病院が連携

ハローワーク下関は精神障害者の就労促進に向け、下関病院と連携事業を実施する。22日、下関市富任町の下関病院で締結式。ハローワークと精神科

があり、ハローワーク下関の中村一徳所長と医療法人の水の木会下関病院の水木眞理事長が協定書を交わした。ハローワークと精神科医療機関の連携は県内で初めて。

精神障害者を就職から職場定着まで一貫して支援しようとして、精神科医療に特化した下関病院と連携する。ハローワークが、就労を希望する患者一人一人に職場実習などオーダーメイドのプログラムを用意。患者の状況に合わせて病院が専門的な助言を行うことで、職場への定着を目指す。

中村所長は「障害者の就業意欲が高まり、企業の雇用理解も進んでいる。双方が状況を理解できるように支援したい」、水木理事長は「患者が仕事を通して生きがいを見つげられたら」と話した。

山口労働局によると、2016年度のハローワークを通じて県内での障害者の就職件数は1022件で、7年連続で過去最高を更新した。このうち精神障害者は、身体障害者を上回る459件。

精神科医療機関との連携は、厚生労働省が13、17年度に38カ所の労働局でモデル事業として行い、18年度から全国で本格的に実施するという。

就業局報道部
〒750-8506
下関市東大和町1-1-7
TEL083(266)3211
FAX083(266)3358
✉ yhoudou@minator-yamaguchi.co.jp

長門支局
TEL0837(26)1782
FAX0837(26)1782
✉ ynagato@minator-yamaguchi.co.jp

精神障害者の就労支援における連携事業について、ハローワーク下関（下関公共職業安定所）との締結式が下関病院で行われました。2018/03/22

平昌パラリンピックでの日本選手団の活躍も記憶に新しいところですね。

スポーツのみならず、障害をお持ちの方の就業意欲の高まりや、企業側における障害者雇用への理解が進んだ結果、雇用されている障害をお持ちの方は年々増えているものの、精神障害の場合には、就職活動に際して課題を抱えているケースが少なくありません。従ってハローワークをはじめとした関係機関との連携が非常に重要となっています。

当院では、患者さんの希望に応じて「就労支援プログラム」を実施しているところですが、今回、ハローワーク下関からのご提案もあって、当該医療機関を利用する患者さんに対して、就職から職場定着まで一貫した支援に取り組む連携事業を平成30年4月から実施することとなりました。

当院では、ケース会議の参加や毎月ジョブガイダンスを実施する等を予定しています。

事務部 久家 良介

(『山口新聞』2018.03.23 朝刊)